

とどろき利治の

# 国会一本勝負

メーン!!



プレス民主 号外 《発行元》民主党参議院比例区第5総支部

轟木利治事務所 参議院議員会館 518 号室 Tel:03-3508-8518/Fax:03-5512-2518

ご安全に、とどろき利治です。日頃のご支援、心からお礼申し上げます。あの歴史的な衆議院選挙によって政権交代が実現してから、早くも2カ月近くがたとうとしています。国会のすべての風景が変わろうとしている今日の状況について、私の近況も含めてお伝えします。

## 鳩山内閣始動 臨時国会始まる

10月26日に第173回臨時国会が開かれ、鳩山内閣になって初めての国会論議がスタートしました。鳩山総理の所信表明演説は、これまでの自公政権とは打って変わって、国民の目線でわかりやすく鳩山内閣のやりたいことを語りかける内容でした。その演説についてさまざまな評価がありますが、鳩山内閣の基本的な姿勢をよく訴えていたと思います。

今日の状況は長年の自公政権によって作られてきた歪みや矛盾が山積しています。それは自公政権の失政のツケではあることは事実ですが、鳩山内閣がそう言っているのも時間の問題となります。民主党を中心とする連立政権は、いずれ与党としての責任と実績が問われることとなります。

この臨時国会は、年内に予算編成をあげることを念頭においているために、会期も10月26日から11月30日までの36日間と短くなっています。また内閣として提出



長崎1区高木義明候補を応援



愛知9区岡本充巧候補を応援

する法案も必要最小限のものになっています。年末を控えて中小企業は資金繰りが苦しくなることは必至であり、「貸し渋り・貸しはがし」対策、新型インフルエンザのさらなる対策などは軌道に乗せるべきものです。

このように連立政権が自らの政策を前面に打ち出し、それが具体的な形になるには今しばらく時間がかかる状況です。年明け以降の通常国会からは、もっと民主党カラーが鮮明に打ち出されることになるでしょう。民主党の「マニフェスト」はそのまま日本語に訳せば「宣言」であり、政策はそれを踏まえながら情勢に応じて立案、実行されるべきものです。民主党は与党としての経験を積むにしたがって、そうした運営についても学んでいくことになると思います。

## **変わる政策決定の道筋 必要な要望の受け皿整備**

鳩山内閣になっていろいろなことが変わり始めていますが、たぶん一番印象的なことは、予算の組み替え問題であると思います。それは麻生内閣のもとで組まれた第2次補正予算から、ムダなもの、不急なものを削ぎ落とすことで、行政刷新会議のもとで各省の予算が見直され、3兆円近い予算が削られることになりました。

それまでの各省庁積み上げ型の予算編成から本当に必要なものに予算をつけていく動きは始まったばかりです。来年度の予算編成の財源をどう確保していくのかは難問であり、鳩山内閣の力量が試されることになります。

こうした政策決定で大きな変化があります。例えば、それまでの与党税制調査会が廃止され、税制は政府税制調査会で一元的に決めることになったことです。自民党政権のもとでは与党税制調査会が実質的な決定権を持ち、政府税制調査会は影が薄いものでした。この与党税制調査会が族議員や利権政治の温床となってきました。この改革はそれまでの自民党政治を変える大きな一歩であるといえます。

こうした流れは、民主党の政策決定の道筋を大きく変えることになりました。政策の議論の場が政府に一元化されたことによって、民主党議員が政策について発言できる場は各省の政策会議だけになっています。これも試行錯誤を繰り返しながら落ち着いていくものと思いますが、皆様方からの要望を受ける体制はまだ整備されていません。皆様方からの意見・要望をキチンと聞く必要があり、その受け皿整備を急がねばなりません。

## **私の所属は環境・ODA、そして国民生活調査会**

私の委員会所属が決まりました。これまで通り中心は環境委員会であり、政府開発援助（ODA）等に関する特別委員会も引き続きです。今回新たに国民生活・経済に関する調査会が加わり、私はその運営に関わる理事となりました。

政権与党の議員としての日々は始まったばかりですが、皆様の目線でしっかりと政治に携わってまいります。これからも皆様のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。